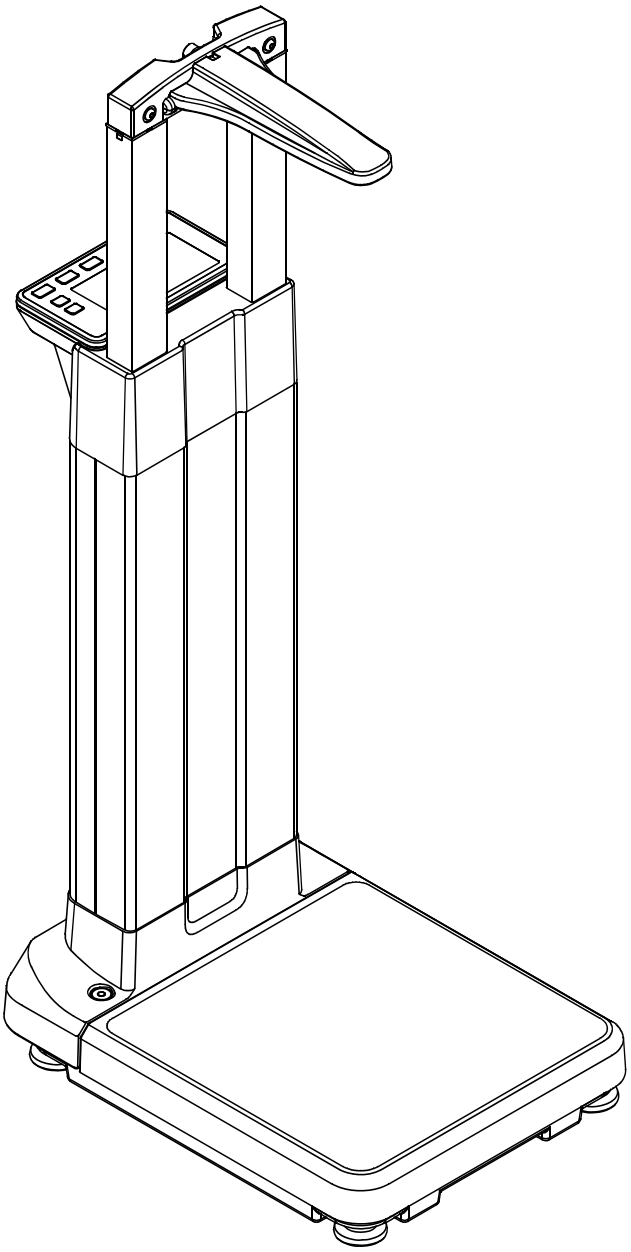
AD-6351

検定付き手動身長体重計（3 級）

取扱説明書



A&D Medical

1WMPD4002735C

1412

ご注意

（1） 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（2） 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
（4） 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2014 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載されている商品名および社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

⚠危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⃠記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

その他

お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全及び危険防止）の注意事項

手動身長体重計 AD-6351 を正しく、安全にお使いいただくために、以下の注意事項を充分に理解した上で取り扱ってください。
なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

⚠危険	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠注意	
	□下記の使用環境、保管環境でご使用ください。 ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 本器および測定者、被測定者の重さに耐えうる場所。 ■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度+5℃～+35℃、湿度 75%RH 以下（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度-10℃～+50℃、湿度 95%RH 以下の場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。
	□製品の設置・移動時は、下記に注意してください。 ■ 本器を移動するときは、支柱を完全に収納してから移動すること。 移動中に支柱の測定バーが落下してケガをする原因になります。 ■ 本器を運搬用台車として使用しないでください。 故障の原因になります。 ■ 屋外や平坦でない床面ではキャスターを使用して移動しないでください。 故障の原因になります。 移動の際は屋内の平坦な床面でのみキャスターを使用してください。 ■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。 故障の原因となります。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。 故障の原因となります。 ■ 本器を移動するときは、AC アダプタやケーブル類を本体より取り外してから移動してください。
	■ 設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠警告	
	■ 電源電圧は必ず交流 100V でご使用ください。 火災や感電の原因になります。

⚠注意	
	■ 機器が安全かつ正確に動作すること。 ■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。 ■ 支柱が完全に収納された状態で電源を入れてください。 ■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。 ■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。 ■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。 ■ 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本器に添付された重力加速度の範囲と本紙の「13. 地域別重力加速度一覧」からご確認ください。 ■ 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。
	■ 本器は人の体重と身長を測定することを目的としています。 体重測定、身長測定以外の目的で使用しないでください。 ■ AC アダプタのケーブルや他のケーブルの上に重いものをのせたり、本器の下敷きにしないこと。 火災・感電の原因になります。 ■ AC アダプタ本体、ケーブル、プラグ部が破損している場合は使用しないこと。 感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。 ■ 電池を交換する際は、すべて新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないでください。 故障の原因になります。 ■ 電池は＋・－の極性に注意し、正しく設置してください。 ■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠注意	
	■ 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。 ■ 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。 ■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲壁などとの接触を避けること。 測定に影響します。 ■ 測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。

	■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 ■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動する場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。 故障の原因になります。 ■ 支柱に寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。 転倒の恐れがあります。 ■ 計量台に飛び乗ったり、乱暴に取り扱わないこと。 けがや故障の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
	■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。 ■ 長期間ご使用にならない場合は電池を抜いておいてください。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

⚠警告	
	■ 測定者および被測定者の安全を確保すること。 ■ 機器の動作を止め、AC アダプタをコンセントから抜くこと。 ■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社までご連絡ください。 ■ 体重計の校正はお客様では行えません。弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

⚠警告	
	■ お手入れの際は、感電防止のため、本器の AC アダプタをコンセントから抜いてください。 ■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 ■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

⚠注意	
❗	■ 本器は、JIS C 61000-4-3(電磁両立性)に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 次に一般的な原因と対策の一例をあげます。 ■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。 □ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。 □ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。 ■ 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合 □ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。 □ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。 □ 他の電源コンセントから電源を取る。 ■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電） □ 本器を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。 □ 部屋を加湿する。 ■ 落雷等による影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。 □ 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

8. 環境保護

⚠注意	
❗	■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。 ■ 使用済の乾電池は、地方自治体の指導に従って処分してください。 可燃性として処分すると、乾電池が爆発して火災が起こり、やけどやけがをする恐れがあります。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。
測定結果の自己判断、治療は危険です。医師の指導に従ってください。

⚠注意	
	■ 表示器やケーブルでつまずかないよう、設置場所に注意してください。 ■ 本器には角や段差があります。転倒したり、ぶつけてけがをしないよう注意してください。
	■ 支柱の上に登ったり、ぶら下がったりしないでください。 けがや転倒の恐れがあります。 ■ 計量台の端に乗らないでください。 転倒する恐れがあります。 ■ 計量台に飛び乗らないでください。 けがや転倒する恐れがあります。 ■ 支柱に寄りかからないでください。 転倒する恐れがあります。
	■ 支柱に、手や髪の毛をはさまないように注意してください。 ■ 移動時に、計量台を落下させないように注意してください。

お知らせ
■ 計量台の中央部にお乗りください。 ■ 体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。

開梱

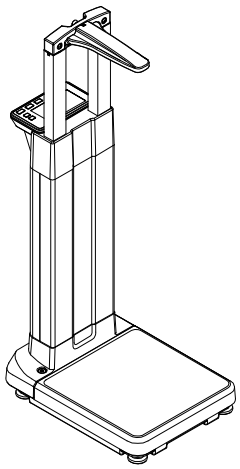
⚠注意	
●	■ 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ
■ 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、損傷や内容物に不足がある場合には、お買い求めいただいた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
オプション品は「12. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

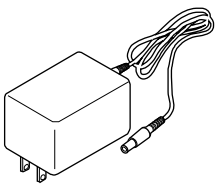
□本体 ..... 1 セット
　・計量台 ..... 1 台
　・表示器 ..... 1 個
□付属品　取扱説明書(本書) ..... 1 冊
　専用 AC アダプタ ..... 1 個
　（AX-TB162A：AC100V, 50-60Hz, 10VA）
　AC アダプタ識別シール ..... 1 枚
　専用接続ケーブル（表示器と計量台接続用） ..... 1 本

本体



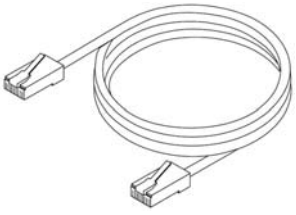
付属品

取扱説明書（本書）



専用 AC アダプタ

AC アダプタ識別シール



専用接続ケーブル

保証書

[Blank page]

目　次

1. はじめに 2

2. 特長 2

3. 検定付き計量器 3

4. 用語の解説 3

5. 仕様 4
   5.1. 構成 4
   5.2. 本体仕様 4
   5.3. 外形寸法 5

6. 各部の名称と機能 6
   6.1. 各部の名称 6
   6.2. スイッチ機能 7
   6.3. 表示部の説明 8

7. ご使用の準備 10
   7.1. 設置 10
   7.2. 電源の準備 12
   7.3. 始業前点検 14
   7.4. 時計設定 15

8. 持ち運ぶときは 17

9. 操作方法 18
   9.1. 測定 18
   9.2. 衣服の重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定） 23
   9.3. 乳幼児の体重をはかる（実風袋引き測定） 25
   9.4. ファンクション設定 26

10. 通信機能（RS-232C インタフェース） 29
   10.1. 標準RS-232Cインタフェース 29
   10.2. データフォーマット 30

11. 保守 31
   11.1. 保守点検と安全管理 31
   11.2. 清掃 31
   11.3. 定期点検 32
   11.4. 廃棄 33
   11.5. 修理を依頼される前に 34

12. アクセサリ・オプションリスト 35

13. 重力加速度の大きさの範囲 35

14. アフターサービス・保証 36
   14.1. 保証期間 36
   14.2. 免責事項 36
   14.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口 36

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイの手動身長体重計 AD-6351 をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、AD-6351 の操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。
本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られるところに大切に保管してください。

2. 特長

AD-6351 は、病院、健康診断、介護施設など医療介護関係向けの業務用身長体重計です。以下の特長があります。

- 計量台支柱の背面の取っ手をもって、簡単に持ち運びできます。
- 表示器を支柱の前・後・左・右、見やすい方向につけられます。
- 表示器と計量台は専用接続ケーブルで接続されているので、表示器を計量台付近の好きなところにおいて使用できます。
- 計量台の厚みが、約 75 mm と薄くなっています。
- 簡単な操作で体重、身長の測定ができます。
- 身長測定で使う測定バーは、支柱を伸縮させることで、簡単に上下できます。
- 測定した体重値と身長値から、BMI を計算し、表示することができます。
- 拡張端子による通信出力機能（RS-232C 準拠）があります。

3. 検定付き計量器

AD-6351 は、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。
以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

■ 使用地域の制限
検定付き計量器を「取引」または「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。
決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、計量台の銘板に記載されています。
※使用地域については、「13. 重力加速度の大きさの範囲」を参照してください。

■ ひょう量と最小測定量、目量
「取引」または「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」は、計量台の銘板および表示部に記載されています。
「取引」とは、計量法の「有償であると無償であるとを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。
「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

■ 使用温度範囲
「取引」または「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、計量台の銘板に記載されています。

■ 定期検査
本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第 11 条により 2 年ごとに定期検査が義務付けられています。
当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県計量検定所にお問合せください。
定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。
※表示固定の解除については、「9.4. ファンクション設定」を参照してください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。
性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、弊社にお問合せください。
※定期点検については、「11.3. 定期点検」を参照してください。

■ 校正
検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

4. 用語の解説

用語	解説
ひょう量	はかりが計量可能な最大の質量を表します。 本器のひょう量は 150 kg です。
目量	はかりの 1 つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。 本器の目量は、100 g です。
風袋引き	風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。 風袋の質量（風袋量）とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです。
正味量	総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。
プリセット風袋引き	計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。本器では「PT」として表現しています。
総量	風袋量またはプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。
BMI	Body Mass Index の略です。 $BMI=\frac{体重\ (kg)}{身長\ (m) \times 身長\ (m)}$ で計算される成人の肥満度の判定指数です。 BMI は日本肥満学会肥満症診断基準検討委員会 2000 年度報告により算出しています。

判 定	BMI
や せ	18.5 未満
普 通	18.5～25.0 未満
肥 満	25.0 以上

5. 仕様

5.1. 構成

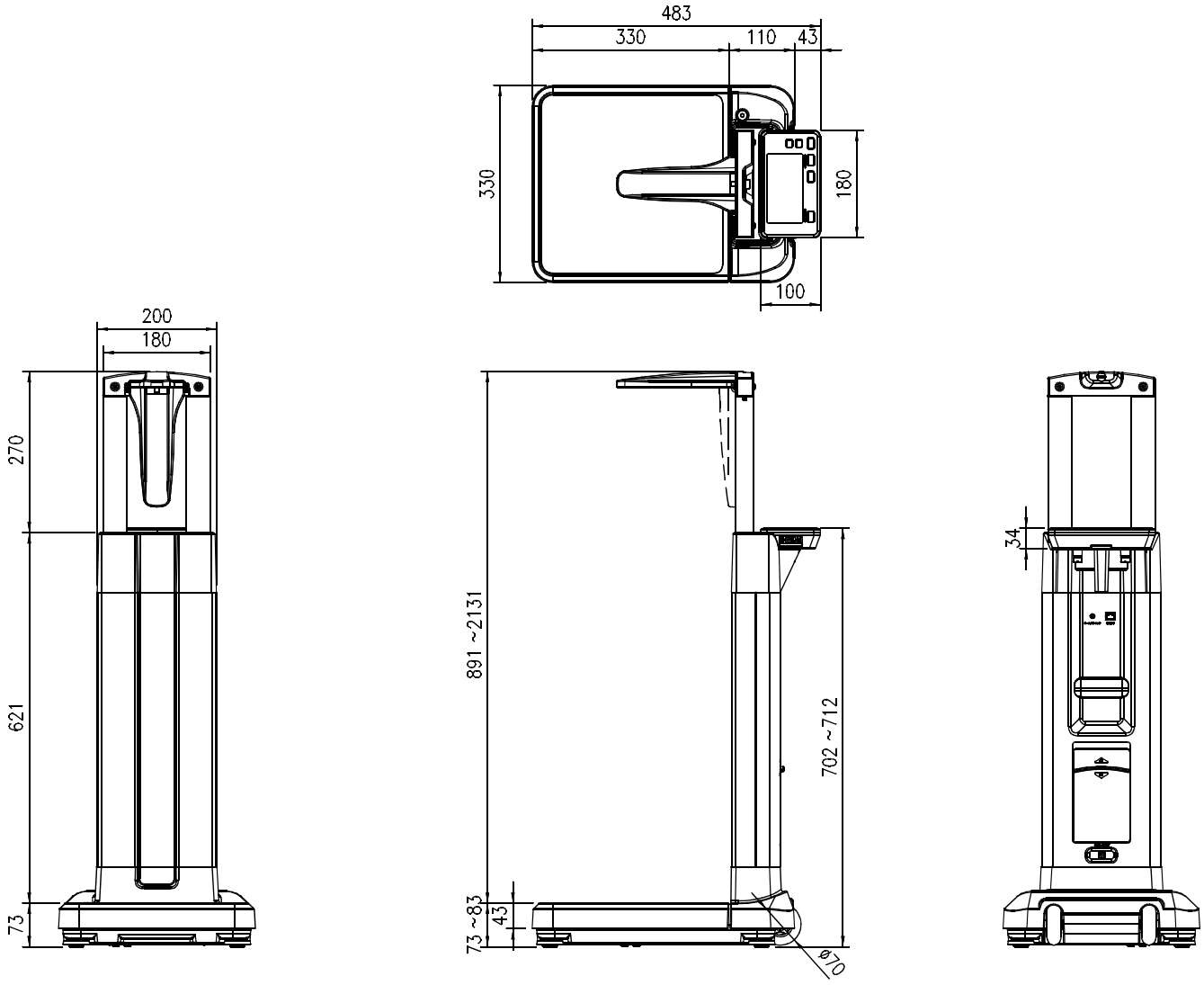
型名 / 搭載機能	AD-6351
デジタル LCD 表示	○
体重測定	○
風袋引き測定	○
プリセット風袋引き測定	○
BMI 計算、表示	○
印刷	オプション

5.2. 本体仕様

項目		仕様
型名		AD-6351
販売名		業務用手動身長体重計
体重計部	精度等級	3 級
	ひょう量	150 kg
	目量	100 g
	最小測定量	2 kg
	最大減算風袋量	90 kg 以下
身長計部	測定方法	支柱伸縮式
	測定範囲	88～210 cm
	最小表示	0.1 cm
使用温湿度範囲		温度：+5℃～+35℃ 湿度：75%RH 以下（結露なきこと）
保管温湿度範囲		温度：-10℃～+50℃ 湿度：95%RH 以下
表示		7 セグメント液晶表示 メイン画面：文字高 23［mm］
電源		専用 AC アダプタ（AX-TB162A：AC100V, 50-60Hz, 10VA） または 単 3 形アルカリ乾電池：6 本
乾電池寿命		アルカリ電池使用時　約 40 時間　※
計量台寸法		330(W)×440(D)×75(H)［mm］
本体質量		約 13 kg（AC アダプタ、乾電池含まず）
耐用期間		設置後 5 年　弊社データによる自己認証。 （正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合の データです。使用状況により差異が生じることがあります。）

※乾電池の寿命は、周囲の環境や温度により異なります。

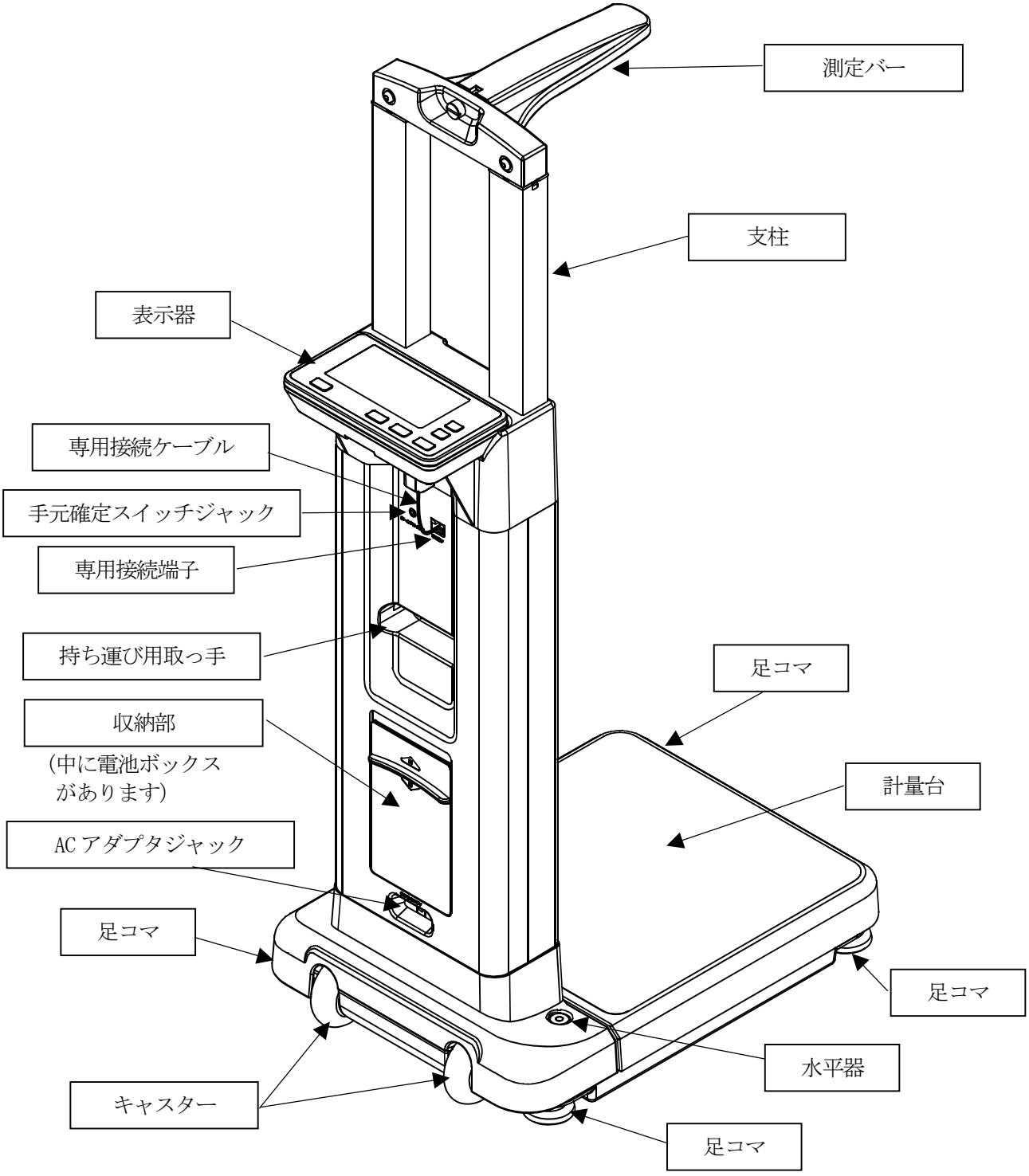
5.3. 外形寸法


483
330
110
43
330
180
100
200
180
270
621
73
891~2131
702~712
73~83
43
Φ70
34

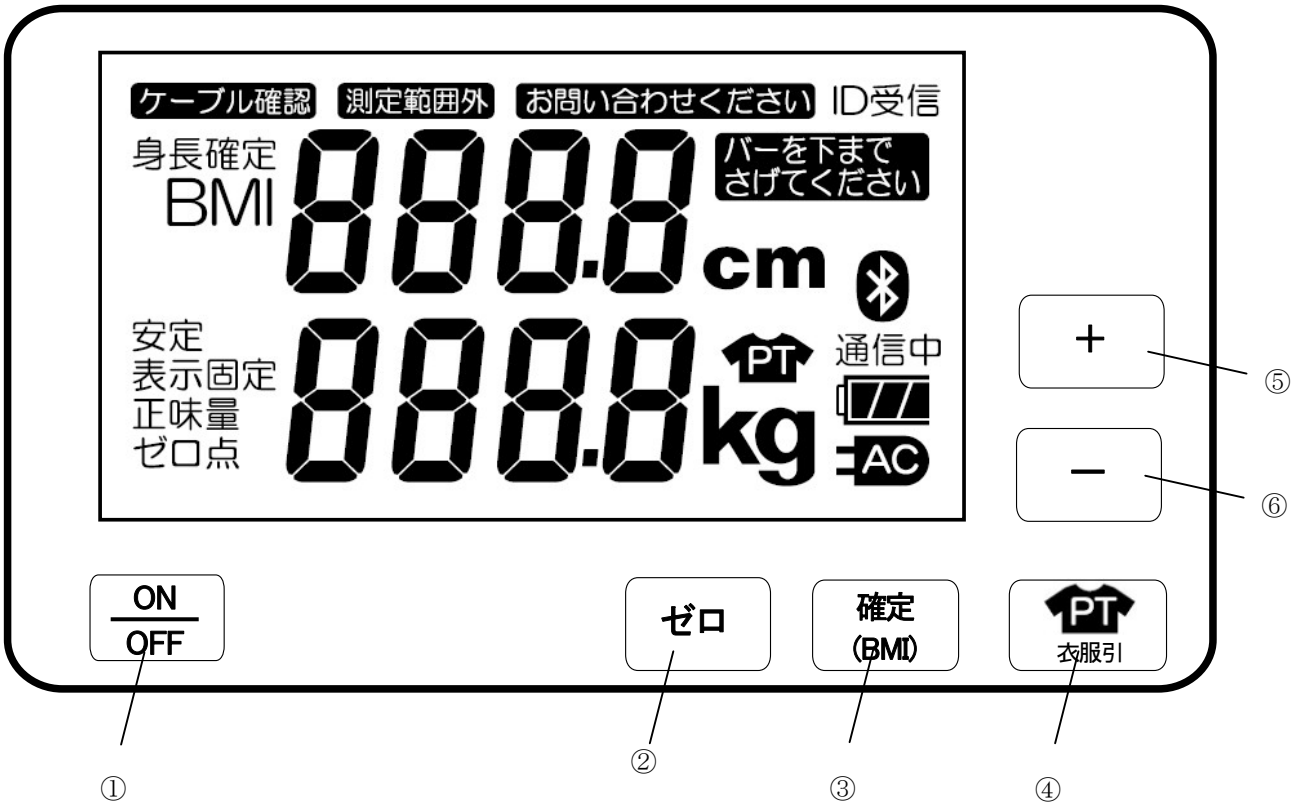
単位： mm

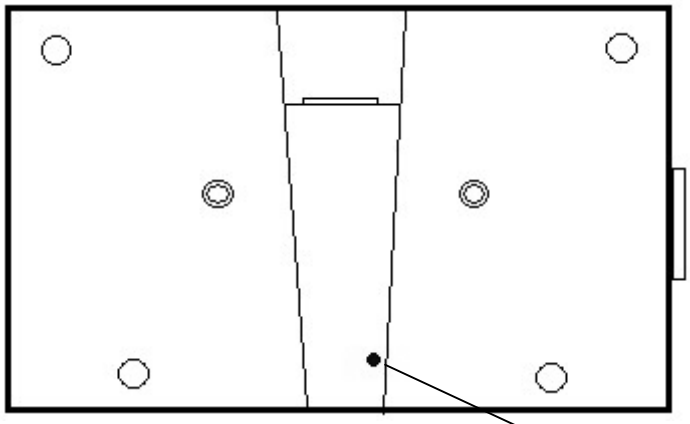
6. 各部の名称と機能

6.1. 各部の名称



6.2. スイッチ機能





表示器の裏面

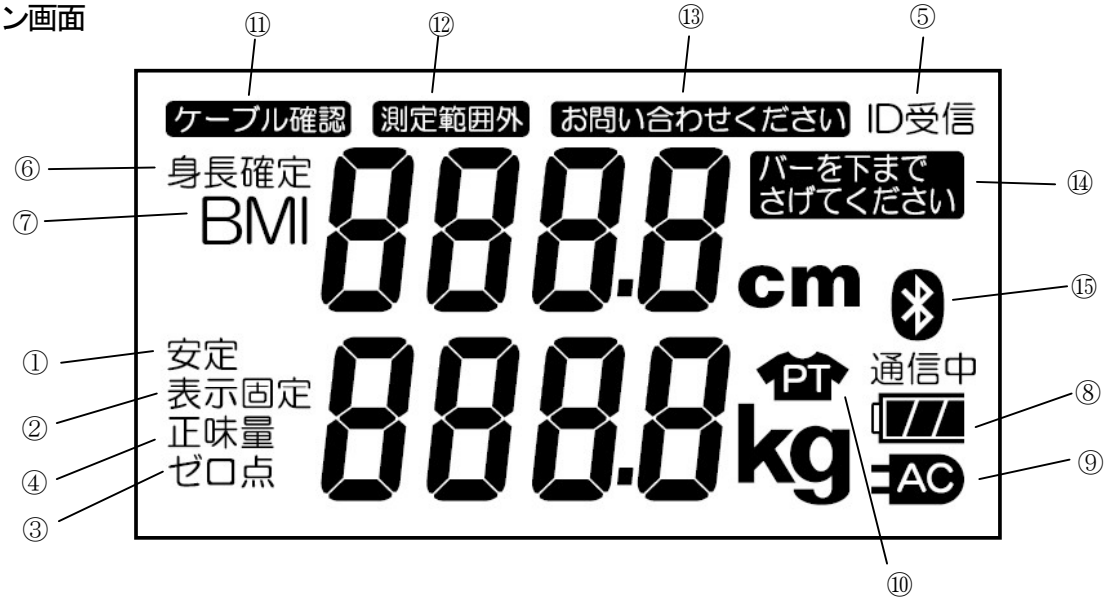
番号	名称	機能
①	ON/OFF	電源のオン・オフを行います。電源オンで待機状態になります。※1
②	ゼロ	表示を 0.0 kg にするとき押します。
③	確定 (BMI)	BMI を計算し表示するとき押します。
④	PT 衣服引	事前に衣服の重さを差し引くとき押します。(プリセット風袋引き)
⑤	＋	各種値を増加させます。
⑥	―	各種値を減少させます。
⑦	時計 ※2	時刻設定をするときに押します。

※1　本器は、オートパワーオフ機能がついています。この機能は測定 ON 後約５分間以上何のスイッチ操作もなく計量台に何ものっていない状態が続くと自動的に電源が OFF になります。
(AC アダプタで動作しているときは自動的に電源 OFF はしません。)
このオートパワーオフ機能の設定は、ファンクション設定にて動作設定することができます。詳しくは「9.4. ファンクション設定」を参照してください。

※2　表示器裏面の隠れスイッチです。先端の尖っていない細い棒で押してください。

6.3. 表示部の説明

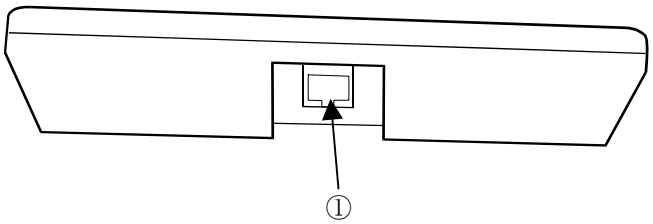
□ メイン画面



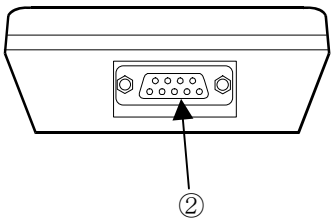
番号	名称	説明
①	安定	体重値が安定すると点灯します。
②	表示固定	安定した体重値を一定時間表示しつづけるとき点灯します。
③	ゼロ点	体重値の 0.0 kg で点灯します。
④	正味量	風袋引き測定、または衣服引き（プリセット風袋）測定をしている間点灯します。
⑤	ID 受信	拡張端子から被測定者 ID が入力されたとき点灯します。
⑥	身長確定	身長値を確定表示しているとき点灯します。
⑦	BMI	BMI 測定中に点灯します。
⑧		単3形乾電池の残量に応じて点灯します。乾電池交換の目安にしてください。 ・・・・乾電池は十分にあります ・・・・すこし少なくなりました。 ・・・・残りわずかです。早めに交換してください。 ・・・直ちに交換が必要です。
⑨		AC アダプタで動作しているとき点灯します。
⑩		衣服引き（プリセット風袋）測定をしている間、「正味量」マークと共に点灯します。
⑪	ケーブル確認	表示器と計量台の専用接続ケーブルが接続されていないとき、または切れているとき点灯します。
⑫	測定範囲外	計量値が 150.8 kg を越えたときと、-1.9 kg 以下のとき点灯します。
⑬	お問い合わせください	製品の異常（故障）を検知したとき点灯します。
⑭	バーを下まで さげてください	起動直後に、支柱が収納されていないとき、点灯します。 支柱を完全収納してください。
⑮		本器では使用しません。

□ 表示器

背面

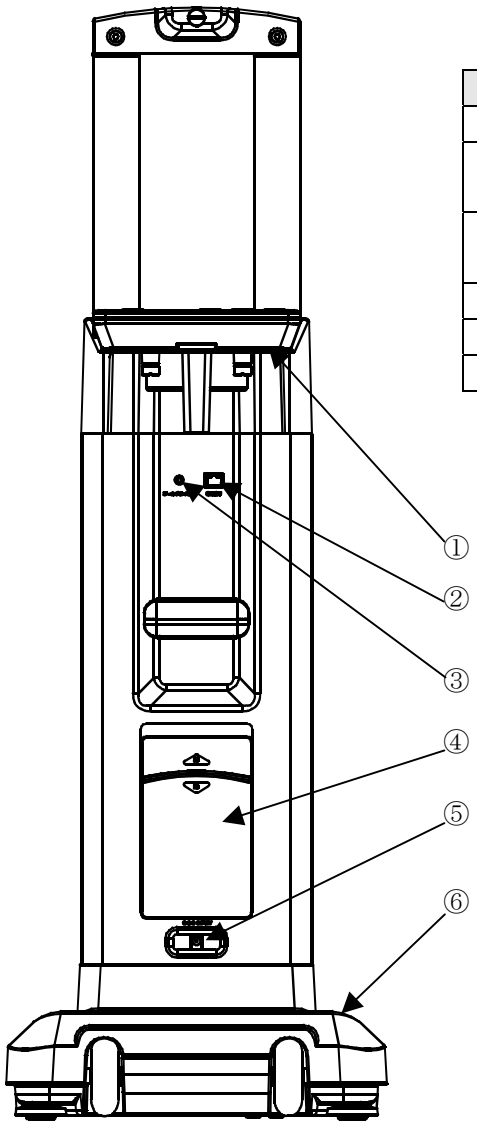


側面



番号	名称	説明
①	専用接続端子	計量台につながる専用接続ケーブルを接続します。
②	拡張端子 (D-sub9 ピンコネクタ)	外部プリンタ等と通信ケーブルにより接続します。

□ 計量台支柱背面



番号	名称	説明
①	表示器取付台	表示器をネジで固定して取り付けます。
②	専用接続端子	表示器につながる専用接続ケーブルを接続します。
③	手元確定スイッチジャック	オプションの手元確定スイッチを接続します。
④	収納部	電池ボックスと AC アダプタを収納します。
⑤	AC アダプタジャック	専用の AC アダプタを接続します。
⑥	水平器	計量台を設置する際、使用します。

7. ご使用の準備

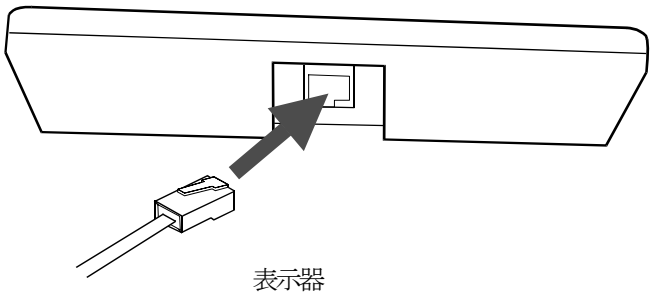
7.1. 設置

⚠注意	
	■ 本器を設置、移動する際は、収納部のフタがしっかり閉まっていることを確認してください。 電池ボックスなどが移動中に落ちで破損する恐れがあります。 ■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃のない水平で安定した場所に設置してください。 製品の設置不安定により、つまずき、けがをする恐れがあります。 ■ 本器は、ひょう量と本器質量に十分耐えうる場所に設置してください。 ■ 専用接続ケーブルで本器と他の製品を接続しないでください。誤動作、故障の原因になります。
	■ 本器は重量物のため、設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

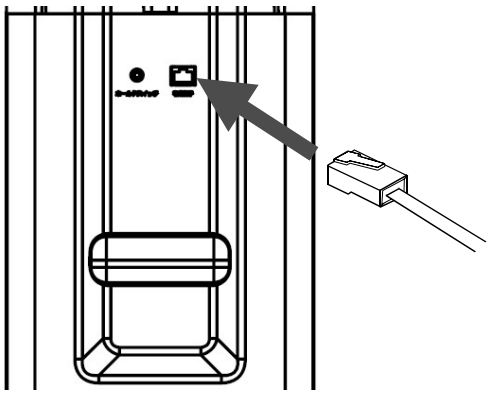
表示器および計量台の設置

手順:

1. 梱包箱から表示器と計量台と専用接続ケーブルを取り出します。
2. 表示器と計量台を専用接続ケーブルで接続します。

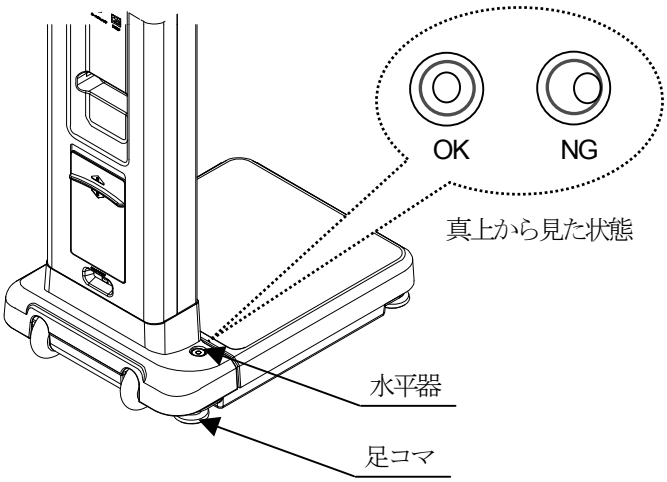


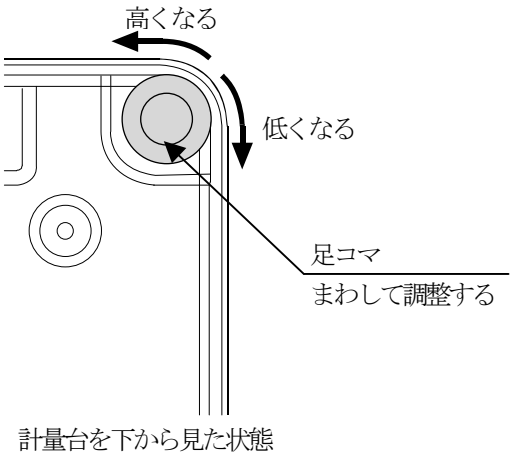
表示器



計量台

3. 水平器の円（赤色）の中に気泡がくるように、計量台の四隅の足コマを回して高さを調整します。計量台の足コマ以外の部分が床や壁等と接触しないように注意してください。

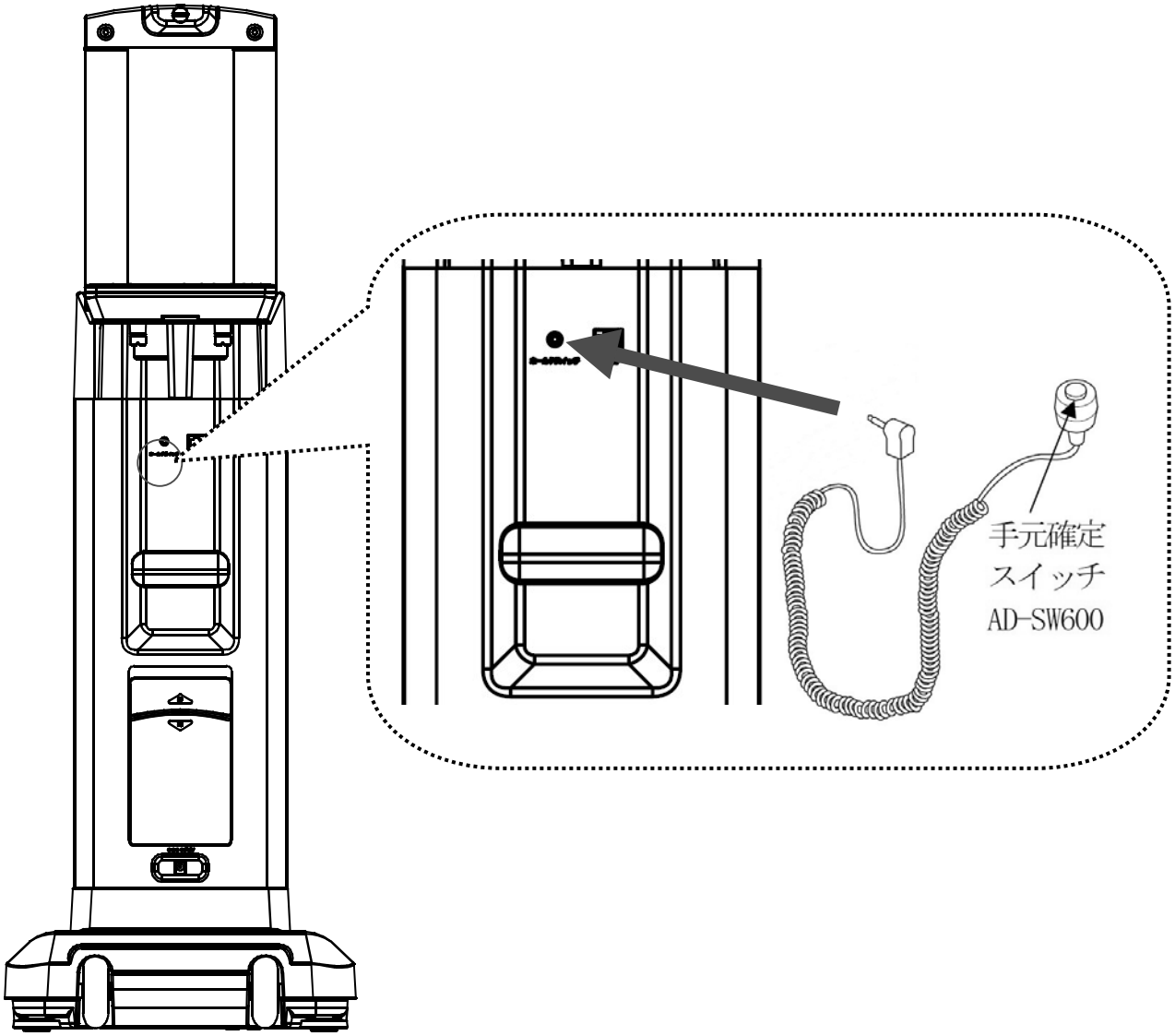




計量台を下から見た状態

手元確定スイッチの接続

別売オプションの手元確定スイッチ（AD-SW600）をご使用になられる場合は、計量台背面の手元確定スイッチジャックにケーブルを接続してください。
手元確定スイッチは、表示器の確定（BMI）スイッチと同じ動作をします。
※確定（BMI）スイッチについては、「6.2.スイッチ機能」を参照してください。



7.2. 電源の準備

ACアダプタを使用する場合

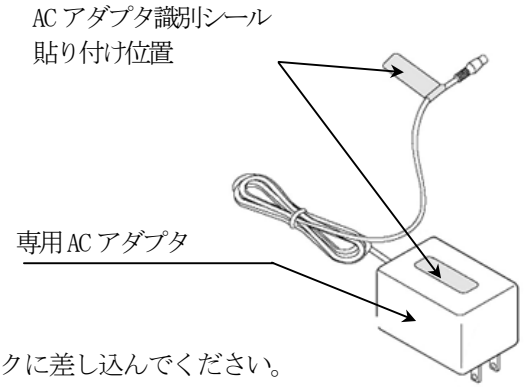
⚠警告	
⚡	■ 電源電圧は交流 100V でご使用ください。

⚠注意	
❗	■ AC アダプタは、必ず弊社製品指定の専用アダプタをご使用ください。 弊社指定外の物を使用した場合、火災、感電、または製品故障の原因となります。 （弊社指定専用アダプタは、AX-TB162 です。）

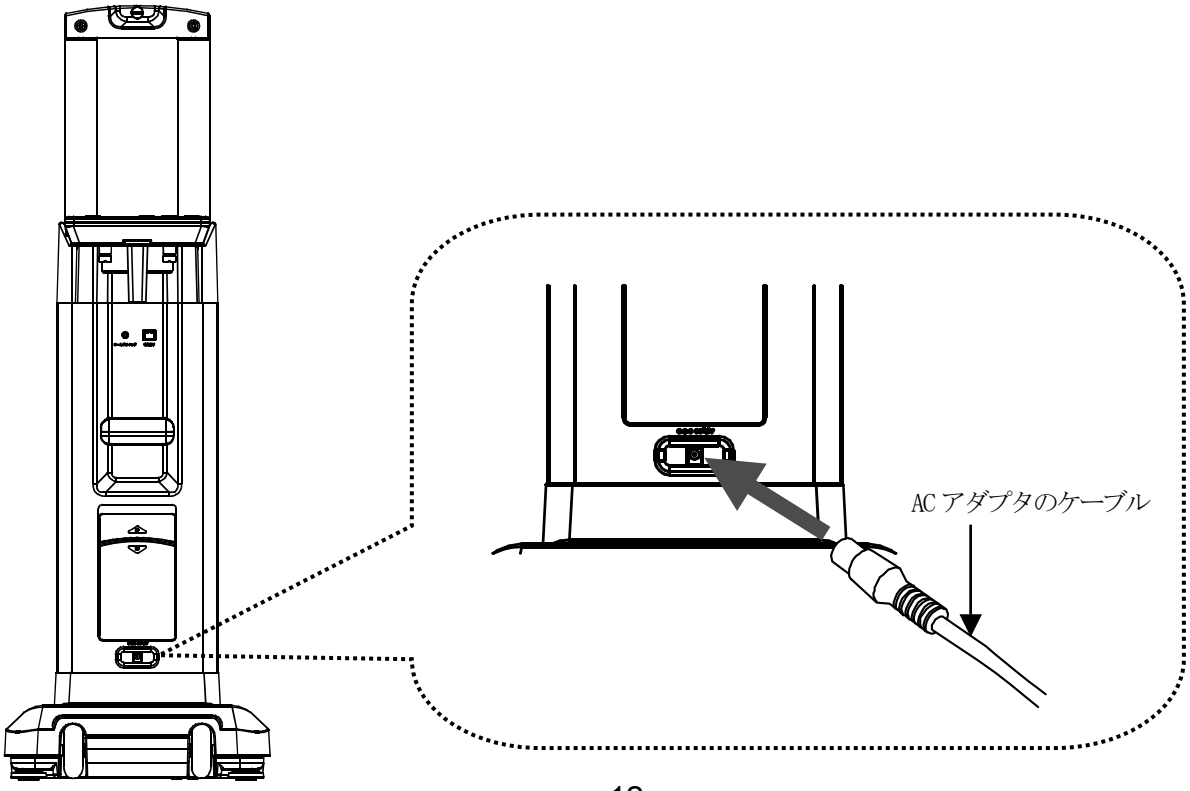
お知らせ
■ AC アダプタの誤使用防止のため、付属の AC アダプタ識別シールを貼り付けてご使用ください。

手順：

1. 付属の AC アダプタ識別シールを台紙よりはがして、AC アダプタ本体およびコード部分に貼り付けてご使用ください。
識別シールには、使用可能な弊社製品の型名が記載されています。



2. 専用 AC アダプタのケーブルを計量台支柱背面の AC アダプタジャックに差し込んでください。



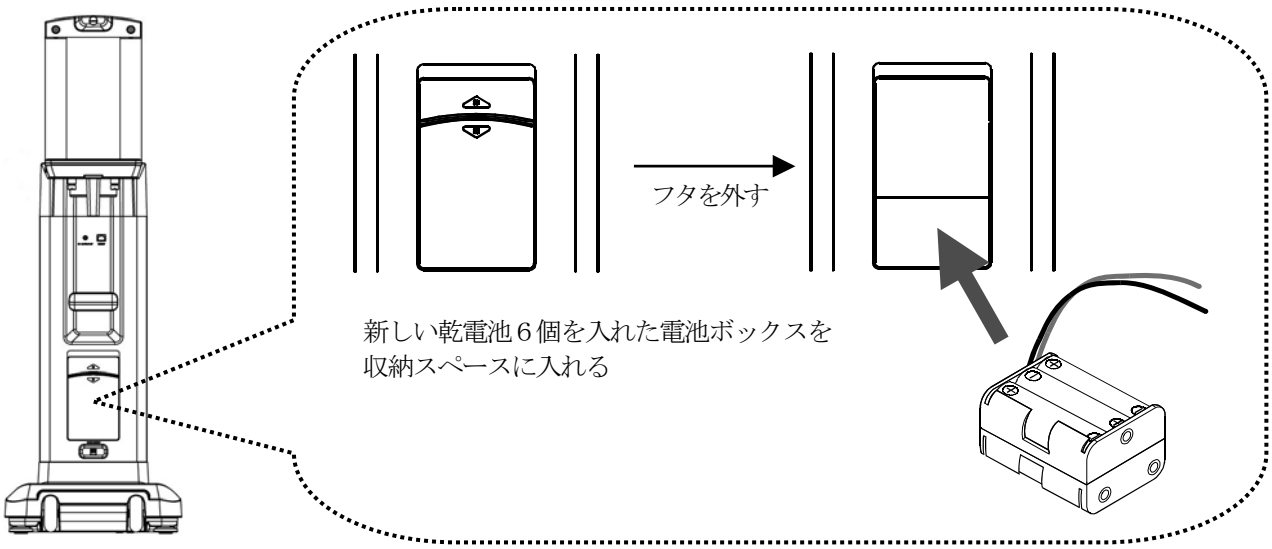
乾電池を使用する場合

⚠注意	
❗	■ 乾電池の＋－の方向を間違えないように入れてください。 ■ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。 ■ 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。 ■ 長期間使用しない場合、あるいは専用ACアダプタのみで使用する場合は、乾電池を取り外してください。 乾電池を入れたまま放置すると、液漏れが起こり故障の原因となります。 乾電池の液漏れによる修理は保証期間内でも有償修理になります。 ■ 乾電池の液が体についたら、すぐにその部位を水でよく洗い流してください。

※乾電池は付属しておりません。ご使用の場合は別途ご購入ください。

手順：

1. 計量台支柱背面の収納部のフタを外して、電池ボックスを取り出します。
2. ＋－の方向に注意して、同種の新しい単３形乾電池を６個入れます。



3. 電池ボックスを収納スペースに戻し、収納部のフタをはめます。

・乾電池の交換時期について

乾電池の残量に応じて図のように乾電池マークが変わります。

- ・・・乾電池は十分にあります。
- ・・・すこし少なくなりました。
- ・・・残りわずかです。早めに交換してください

図のように、乾電池マークのケースだけ点滅すると、動作できません。直ちに乾電池を交換してください。

7.3. 始業前点検

⚠注意	
	■ 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。

電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ 変形や破損はないか ■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか ■ パネル類に割れやガタつき等はないか ■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか ■ 結露や水濡れはしていないか
計量台	■ 計量台のガタつき、固定異常はないか ■ 足コマは 4 箇所付いているか、ガタつき、破損等はないか ■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）
接続ケーブル	■ AC アダプタのケーブルや専用接続ケーブルの上に重いもの、車イス、本体等がのっていないか ■ AC アダプタのケーブル・プラグ、専用接続ケーブル等は傷んでいないか ■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか

電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいはないか ■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	■ 実測し、体重値および測定動作に異常はないか
データ処理 （他 PC 等への接続の場合）	■ 正常に通信可能か　データに異常はないか
スイッチ・ボタン	■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか
表示	■ 文字欠け等表示異常はないか

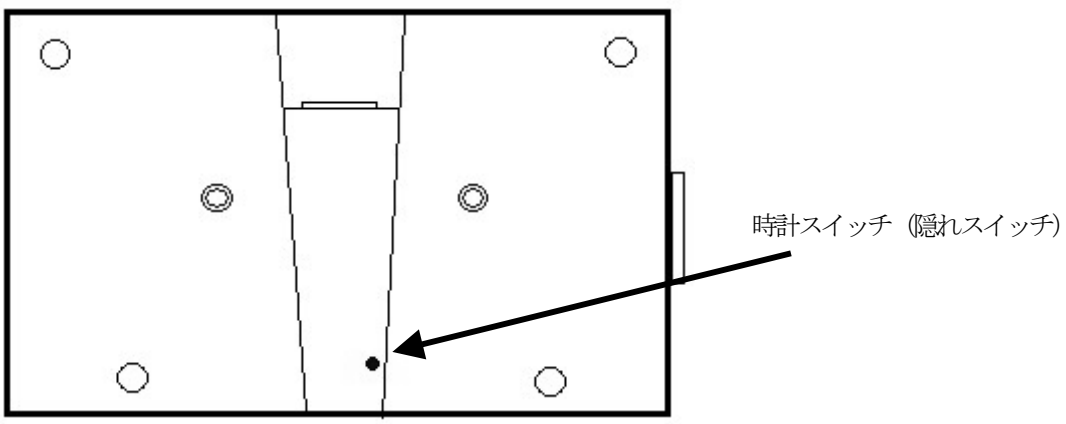
上記の「始業前点検」で、設定などがズレている場合、本書をご参照の上、修正を行ってください。

7.4. 時計設定

下記の方法で日付・時刻を設定してください。設定した日付・時刻は拡張端子により、測定データと共に出力され印字などできます。

手順:

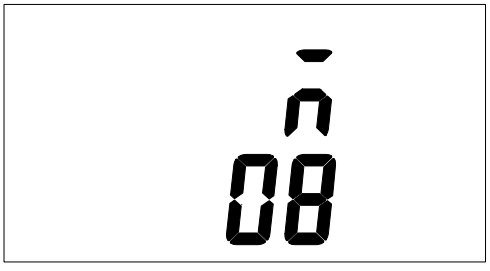
1. ON/OFF スイッチを押して待機状態にして、表示器裏面の隠れスイッチを３秒以上押してください。



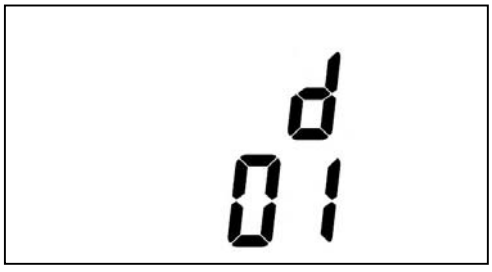
お知らせ
■ 待機状態になって１分以上経ってしまったときは、もう一度 ON/OFF スイッチを押して待機状態にしてください。

2. メイン画面に西暦が点滅表示します。＋、－スイッチで西暦を合わせてください。

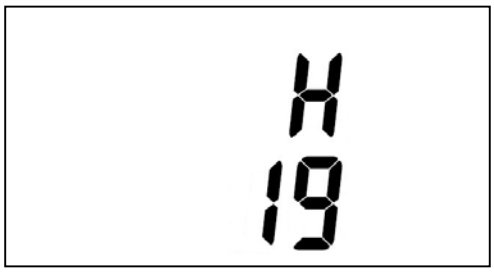
3. ゼロスイッチを押すと設定され、メイン画面に月が点滅表示します。
＋、－スイッチでお使いの月に合わせてください。



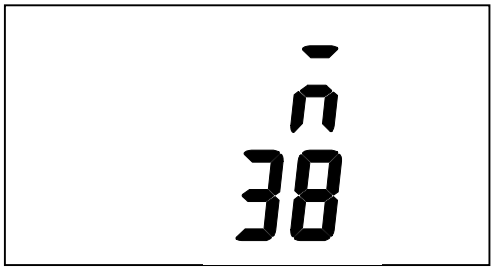
4. ゼロスイッチを押すと設定され、メイン画面に日が点滅表示します。
＋、－スイッチでお使いの日に合わせてください。



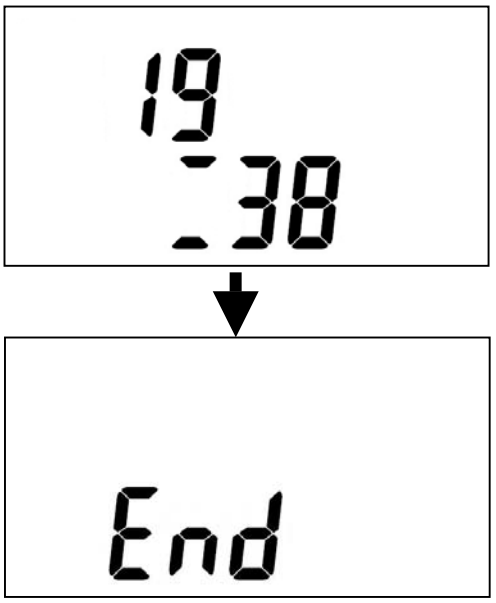
5. ゼロスイッチを押すと設定され、メイン画面に時刻が２４時間で点滅表示します。
   ＋、－スイッチでお使いの時刻に合わせてください。



6. ゼロスイッチを押すと設定され、メイン画面に分が点滅表示します。
   ＋、－スイッチでお使いの分に合わせてください。



7. ゼロスイッチを押すと設定され、メイン画面に“時：分”表示された後、
   “End”の文字があらわれ設定は完了します。



お知らせ

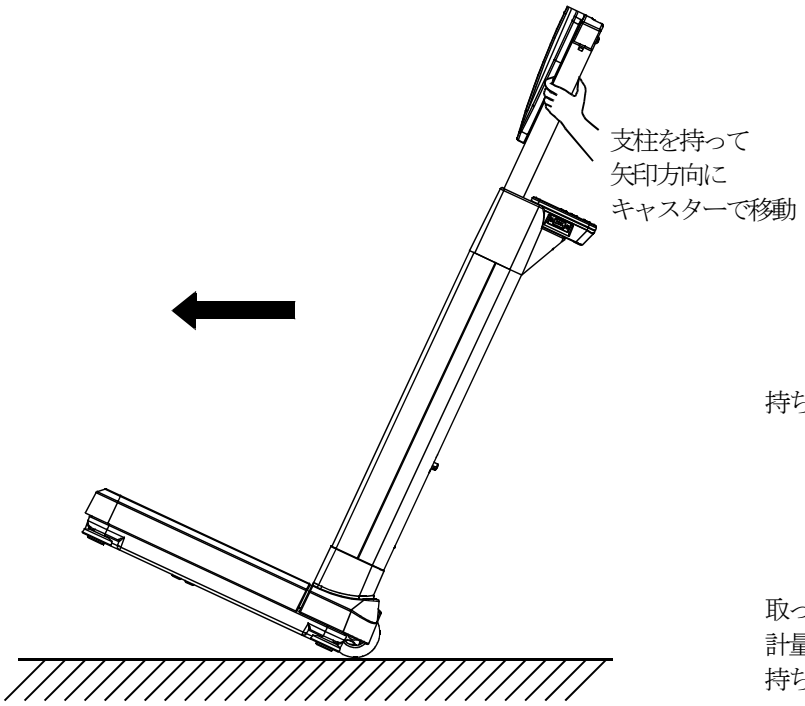
- 年データの設定可能範囲は、2013～2099 年です。
- 本器の時計は、24 時間制です（閏年対応）。
- 時刻設定中に ON/OFF スイッチを押すなどして時刻設定モードを抜けた場合、変更した時刻データ（年～分）は設定されません。
- 本器の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。
- 測定 ON 状態で表示器裏面の隠れスイッチを押すと、現在時刻の表示確認ができます。

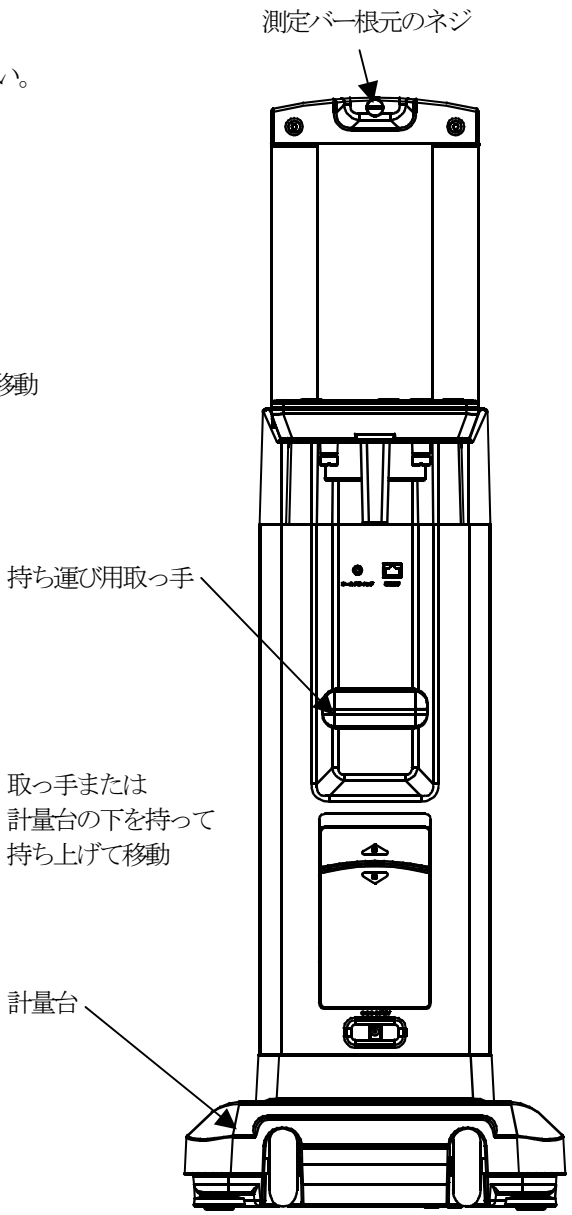
8. 持ち運ぶときは

⚠注意	
	■ 本器は小さな隙間があります。指などをはさみけがをしないように注意してください。 ■ 移動時にケーブル類を計量台ではさまないように注意してください。 ■ 激しく移動しないでください。計量台が落下したり、表示器が外れ、けがをする原因になります。 ■ 支柱を引っ張って移動しないでください。けがをする原因になります。 ■ 測定バーおよび測定バー取付部を持って移動しないでください。けがや故障の原因になります。
	■ 移動時は手を放さないでください。バランスを崩し、けがをする原因になります。 ■ 計量台に物を置き、運搬用台車として使用しないでください。けがや故障の原因になります。 ■ AC アダプタをジャックに挿したまま、移動しないでください。
	■ 本器は重量物のため、設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

手順：

1. AC アダプタを収納して、表示器を計量台支柱にネジでしっかりと取り付けてください。
2. 測定バー根元のネジをゆるめて、測定バーをたたんでください。
3. 支柱を完全に収納してください。
4. 計量台支柱背面の持ち運び用取っ手や計量台の下を持ってください。
5. 足元に十分注意して移動してください。





9. 操作方法

⚠注意	
❗	■ 計量台の端に乗ったり、つまずき、けがをしないように注意してください。

9.1. 測定

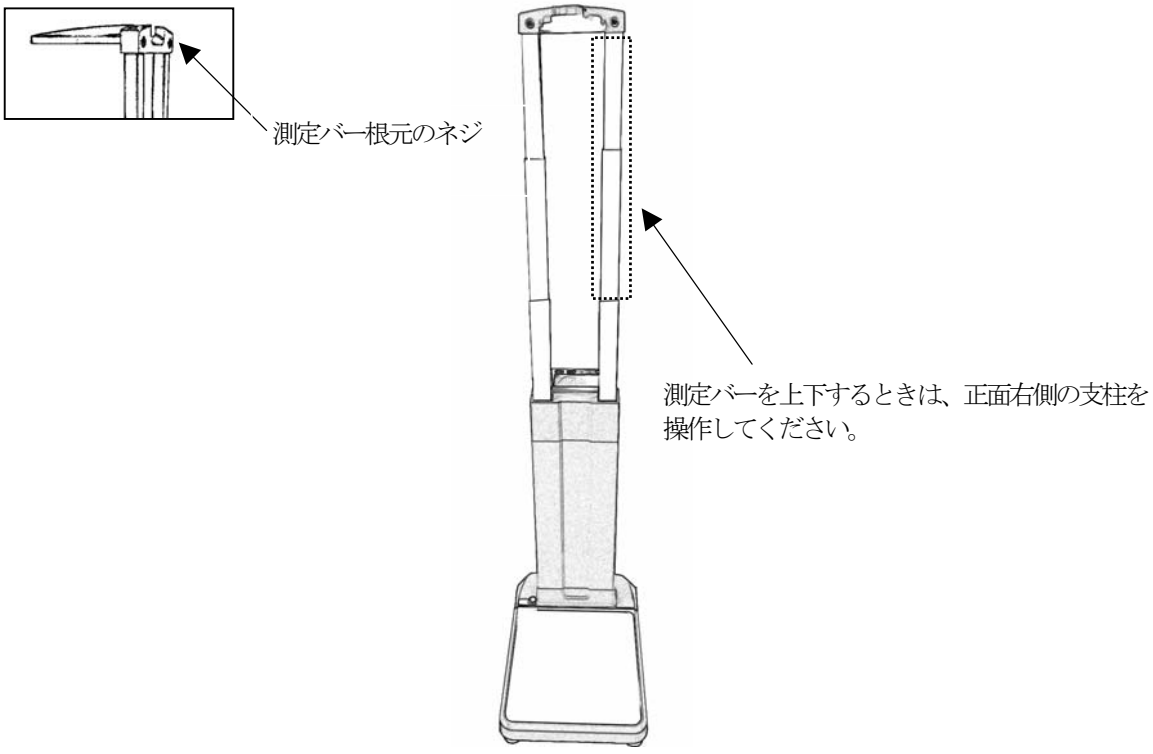
本器は、ファンクション設定で“測定順固定”と“ランダム測定”のいずれかを選択できます。
詳しくは「9.4.ファンクション設定」を参照してください。

初期設定は“ランダム測定”になっています。
“ランダム測定”で使用される場合は、P21 の「手順（ランダム測定の場合)」を参照してください。

ファンクション設定	設定内容	説明
F4-0	測定順固定	体重測定後、身長測定をします。 身長測定後、体重値表示と身長値・BMI の切替表示になります。 （身長値と BMI の切り替えは自動的に行います。） 測定中に計量台から降りた場合、体重測定からやり直しになります。
F4-1	ランダム測定	体重測定、身長測定のどちらからでも測定できます。 確定 (BMI) スイッチを押すと数秒間 BMI 表示になります。

身長測定する場合

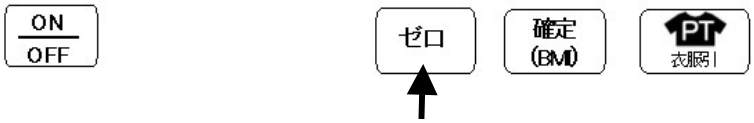
1. 測定バー根元のネジを締めて、測定バーをしっかり固定してください。
2. 測定バーを上下するときは、正面右側の支柱を操作してください。
3. 本器を収納する場合は、測定バー根元のネジをゆるめて測定バーをたたみ、支柱を完全に収納してください。



手順（測定順固定の場合）:

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2.電源の準備」参照
2. 測定バー根元のネジを締めて測定バーを固定してください。
3. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。

4. 全点灯表示後、体重表示が“0.0 kg”表示となり安定マークが点灯します。
“0.0 kg”表示になっていない場合は、ゼロスイッチを押してください。
バーを下まで さげてください マークが点滅している場合は、一度支柱を完全収納してください。マークが消えます。



お知らせ
■ 乾電池で動作しているとき、何のスイッチ操作もなく計量台に何ものっていない状態が約５分間続くと自動的に電源OFFになります。（ACアダプタで動作しているときは自動的に電源OFFはしません。）

⚠注意	
❗	■ 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。 ■ 体重測定のとき、支柱に触れると、測定誤差の原因になります。

5. 計量台に乗ります。

6. 体重が安定すると「安定」と「表示固定」の表示が点灯し、体重値が表示固定されます。
体重値が表示固定されると、身長値が表示され身長測定ができるようになります。

お知らせ

- 表示固定は、体重値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。体重値が 5 kg 以上の場合に適用されます。
- 体重値が 150.8 kg を超えると測定範囲外になり、“E”を表示します。

7. 体重値に±3 kg の変動があると表示固定は解除されます。(設定により 7 秒経過すると解除することもできます。)
体重値の表示固定が解除されると、身長値表示が消え、体重測定になります。

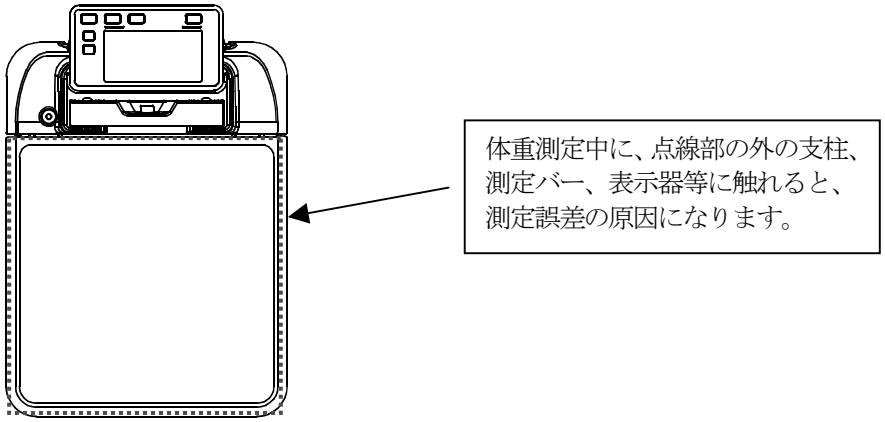
8. 測定バーを頭に合わせて、[確定 (BMI)] スイッチを押します。

お知らせ

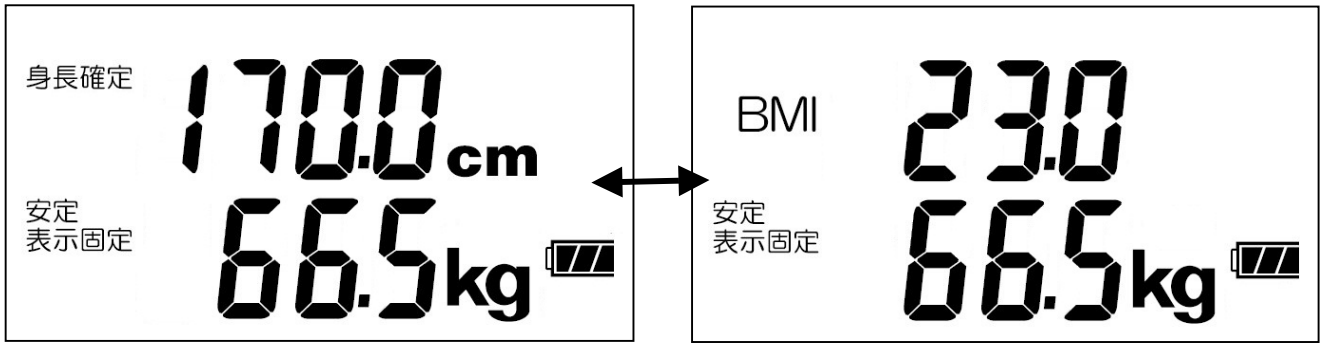
- 測定バーは、支柱を伸縮操作することで上下動することができます。
- 測定バーを上げるときは、正面右側の支柱を操作してください。

⚠注意

- 測定バーおよび測定バー取付部を持って測定バーを上下動させないでください。
- 体重測定のとき、支柱に触れると、測定誤差の原因になります。
背中やかかとが支柱に触れないようにしてください。



9. 体重値表示と身長値・BMI 自動切替表示になります。



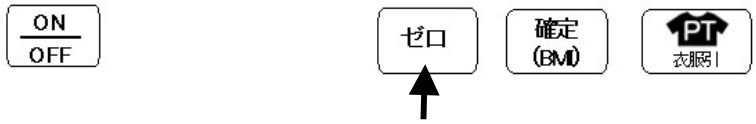
身長値と体重値表示　　BMI と体重値表示

10. 測定が終了したら計量台から静かに降ります。測定しないときは、[ON/OFF] スイッチを押して測定 OFF にします。

手順（ランダム測定の場合）:

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2.電源の準備」参照
2. 測定バー根元のネジを締めて測定バーを固定してください。
3. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。

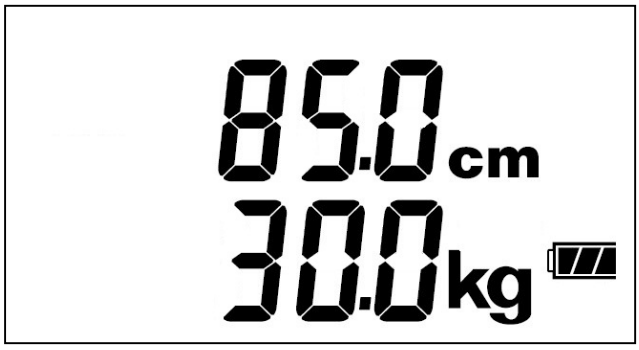
4. 全点灯表示後、体重表示が“0.0 kg”表示となり安定マークが点灯します。
“0.0 kg”表示になっていない場合は、ゼロスイッチを押してください。
バーを下まで
さげてください
マークが点滅している場合は、一度支柱を完全収納してください。マークが消えます。



お知らせ
■ 乾電池で動作しているとき、何のスイッチ操作もなく計量台に何ものっていない状態が約５分間続くと自動的に電源OFFになります。（ACアダプタで動作しているときは自動的に電源OFFはしません。）

⚠注意	
❗	■ 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。 ■ 体重測定のとき、支柱に触れると、測定誤差の原因になります。

5. 計量台に乗ります。
体重値と身長値が表示されます。



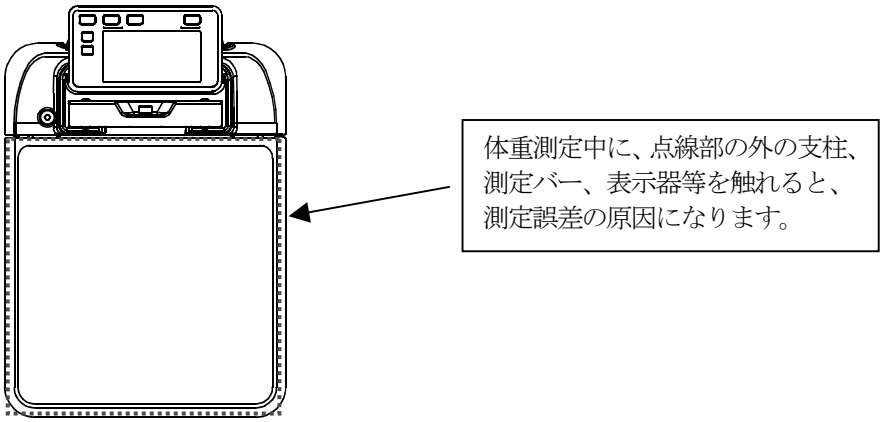
6. 体重が安定すると「安定」と「表示固定」の表示が点灯し、体重値が表示固定されます。
体重値に±3 kg の変動があると表示固定は解除されます。（設定により７秒経過すると解除することもできます。）

7. 測定バーを頭に合わせます。

お知らせ
■ 測定バーは、支柱を伸縮操作することで上下動することができます。 ■ 測定バーを上げるときは、正面右側の支柱を操作してください。

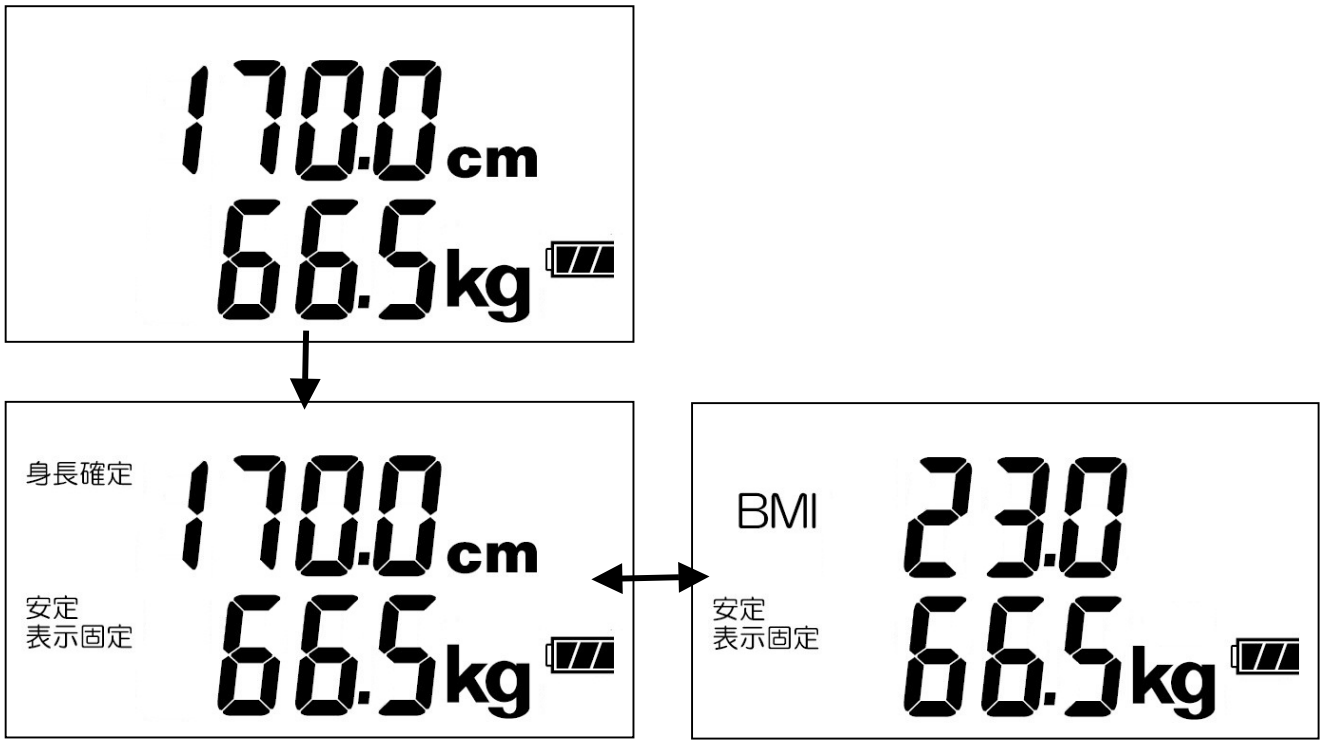
⚠注意

- 測定バーおよび測定バー取付部を持って測定バーを上下動させないでください。
- 体重測定のとき、支柱に触れると、測定誤差の原因になります。
  背中やかかとが支柱に触れないようにしてください。



8. 測定バーを頭に合わせてから体重を測定することもできます。
   また、測定中 [確定 (BMI)] スイッチを押すと、身長値から数秒間 BMI 表示になります。

   このとき表示される BMI は、表示されている体重値とそのときの身長値から計算された数値になります。



身長値と体重値表示　　BMI と体重値表示

お知らせ

- 表示固定は、体重値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。体重値が 5 kg 以上の場合に適用されます。
- 体重値が 150.8 kg を超えると測定範囲外になり、“E”を表示します。

9. 測定が終了したら計量台から静かに降ります。測定しないときは、[ON/OFF] スイッチを押して測定 OFF にします。

9.2. 衣服の重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定）

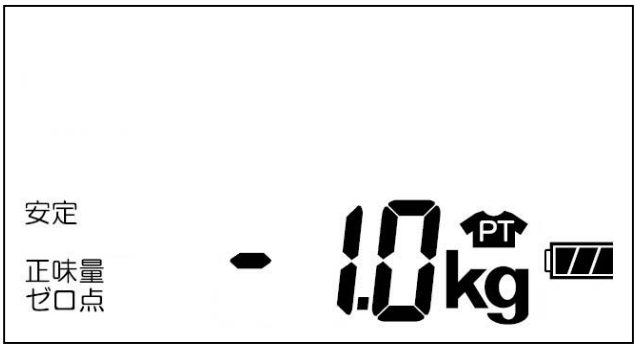
衣服の重さとして1.0 kg引くとき

手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2.電源の準備」参照

2. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。

3. PT 衣服引 スイッチを押すと初期の衣服引き量（プリセット風袋量）1.0 kg が表示から差し引かれ、衣服引き量（プリセット風袋量）である「PT −1.0 kg」が表示されます。



測定順固定の場合

ランダム測定の場合

4. PT と正味量が点灯し、この状態で衣服引き量（プリセット風袋量）として 1.0 kg 差し引かれた測定ができます。

   通常の測定に戻すには、計量台になにものせないで、 PT 衣服引 スイッチまたは、ゼロ スイッチを押します。

お知らせ
■ PT 衣服引 スイッチを長押しすると、設定された衣服引の量が一定時間確認できます。

衣服の重さを変更するとき

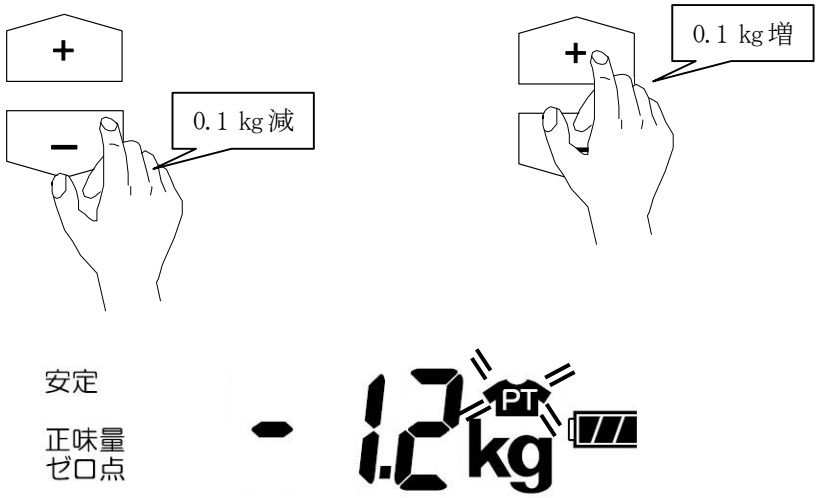
手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2.電源の準備」参照

2. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします。

3. PT 衣服引 スイッチを押すと初期の衣服引き量（プリセット風袋量）1.0 kg が表示から差し引かれ、衣服引き量（プリセット風袋量）の「PT −1.0 kg」が表示されます。

＋、－スイッチを押すと、衣服引き量（プリセット風袋量）1.0 kg が 0.1 kg 単位で変更されます。
変更中は PT マークは点滅します。



お知らせ
■ 差し引く重さは 0.1 kg から 90.0 kg までです。

4. 変更後しばらくすると正味量と PT が点灯し、この状態で変更された衣服引き量（プリセット風袋量）で差し引かれた測定ができます。

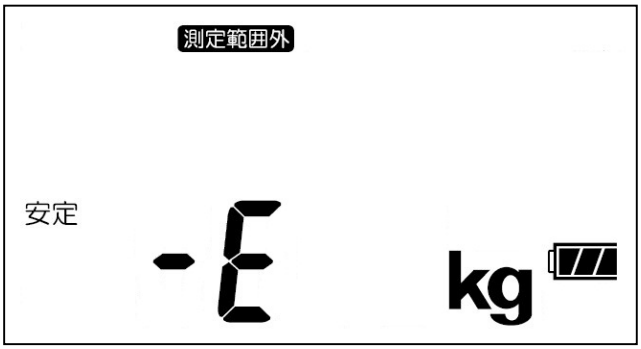
9.3. 乳幼児の体重をはかる（実風袋引き測定）

手順：

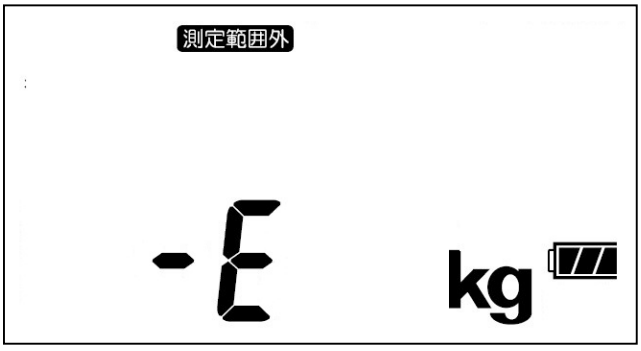
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2.電源の準備」参照
2. ON/OFF スイッチを押して測定 ON にします
3. 人が乗った状態で、ゼロスイッチを押すと表示が 0.0 kg になります。
4. 一度計量台から降りた後、同じ人が乳幼児を抱いて、再び計量台に乗ります。
5. 表示される値が、乳幼児の体重になります。

ゼロスイッチ使用時のご注意

- 計量台にのせても質量が軽く 3 kg 未満（例えば 2.0 kg）のとき、ゼロスイッチを押すと表示は 0.0 kg になりますが、その後ものを取り除くと、-2.0 kg と表示せずにエラーが表示されます。
- 「安定」の表示が点灯している場合は、ゼロスイッチを押して表示を 0.0 kg にします。



- 「安定」の表示が点灯していない場合は、一度電源を入れ直してください。



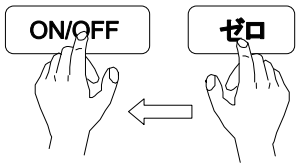
9.4. ファンクション設定

ファンクション設定は、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信設定ができます。
各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

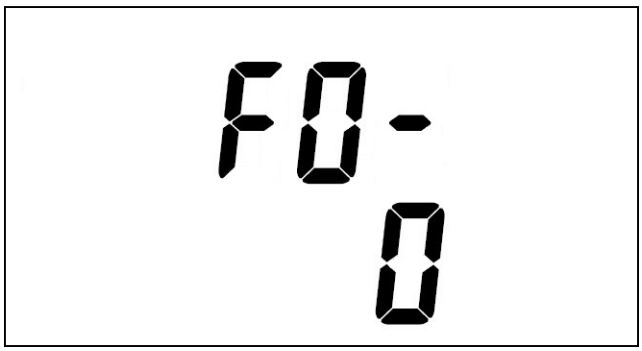
ファンクション設定方法

手順:

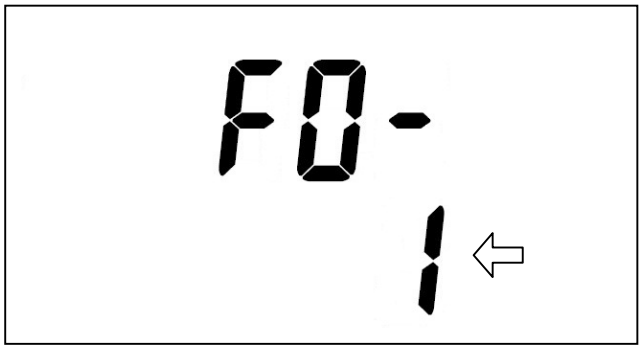
1. 測定 OFF の状態にします。
2. ゼロスイッチを先に押した状態で、ON/OFF スイッチを押します。



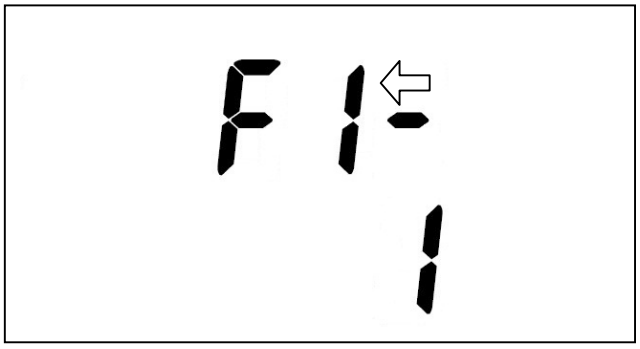
3. “F0-＊”と表示されます。



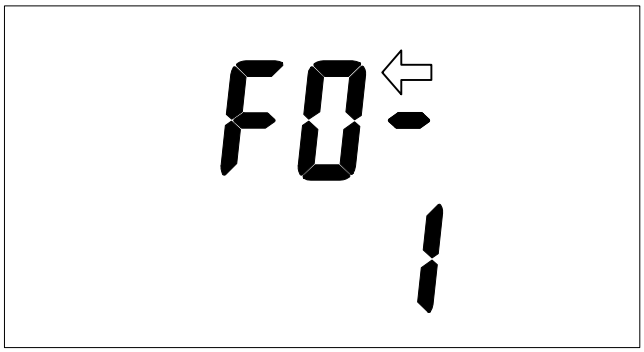
4. ゼロスイッチを押すと設定が変更され、F0-0→F0-1 と変わります。



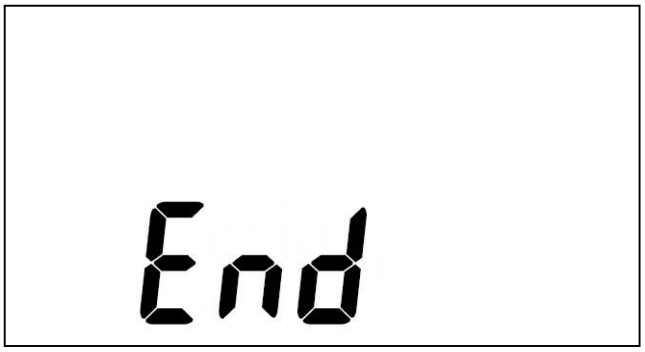
5. ＋スイッチを押すと次の項目になり F0-1→F1-1 と変わります。



6. －スイッチを押すと前の項目に戻り、F1-1→F0-1 と変わります。



7. 上記の項目の設定が終わったら、ON/OFF スイッチを押します。
8. 表示に“End”と現れ、設定が記憶されます。



ファンクション一覧

AD-6351

項目	内容	設定値	設定内容
F0	イニシャル	◆0	無効
		1	実行
F1	オートパワーオフ	0	無し
		◆1	5 分
		2	10 分
		3	15 分
		4	30 分
F2	表示固定	0	無し ※1 ※2
		1	有り 時間解除 ※1
		◆2	有り 変動量±3.0 kg で解除
		3	有り 1+2 の条件で解除
F3	ブザー音	0	無効
		◆1	有効
F4	測定順序選択	0	測定順固定
		◆1	ランダム測定
F5	通信内容およびタイミング	0	オート出力モードA
		1	オート出力モードB
		2	オート出力モードC
		◆3	オート出力モードD
		4	ストリーム(出力形式固定)
		5	出力無し
F6	通信フォーマット	◆0	標準フォーマット
		1	全自動血圧計用フォーマット
		2	プリンタ用フォーマット
F7	拡張端子1イニシャル	◆0	無効
		1	実行
F8	拡張端子1（ボーレート）	◆0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 pbs
F9	拡張端子1（パリティ）	◆0	EVEN
		1	ODD
		2	NONE
FA	拡張端子1（終端）	◆0	CRLF
		1	CR
FB	拡張端子1（データ長）	◆0	7 ビット
		1	8 ビット

◆は初期設定を表します。

※1 身長体重計として使用される場合は、「F2-0」または「F2-1」の設定を選択しないでください。
※2 「表示固定設定」で、「F2-0」の設定を選択する場合は、オート出力の設定で使用しないでください。表示が安定するたびに出力されます（連続して出力されることがあります）。
※3 「オートパワーオフ設定」にかかわらず、AC アダプタで動作しているときは自動的に電源 OFF はしません。

⚠注意	
	■ 「F2-0」または「F2-1」の設定を選択した場合、身長測定ができなくなることがあります。

10. 通信機能（RS-232Cインタフェース）

10.1. 標準RS-232Cインタフェース

本器は、RS-232C クロスケーブルを用いて、外部プリンタ等と接続することができます。
通信スタイルの設定により、ストリームモード、オート出力モードが設定できます。
通信条件（ボーレート、データ長、パリティビット、ストップビット）を通信する機器と合わせてください。
通信スタイルと通信条件の設定方法は「9.4. ファンクション設定」を参照してください。

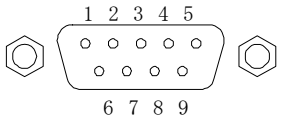
□ インタフェース仕様

入出力規格	EIA RS-232C 準拠	
伝送形式	調歩同期式（半二重方式）	
信号形式	通信速度	2400, 4800, 9600 bps　選択可
	データビット長	７ビット、８ビット　選択可
	パリティ	無し(NONE),偶数（EVEN）,奇数（ODD）選択可
	ストップビット	１ビット
	使用コード	ASCII

□ ピン接続

コネクタ：D-sub 9 ピン（オス）

ピン番号	信号	方向※	備考
1	CD	N.C.	
2	RXD	入力	
3	TXD	出力	
4	DTR	-	
5	SG	-	
6	DSR	N.C.	
7	RTS	出力	7ﾋﾟﾝと8ﾋﾟﾝは内部で結線されています。
8	CTS	入力	
9	RI	N.C.	



通信ケーブルは接続する周辺機器に合わせて用意しております。「12. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

□ 出力通信スタイル

通信スタイルは以下の２つがあります。

以下の送信以外に、確定(BMI)スイッチが押され、体重・身長が確定したとき、体重、身長、BMI データを、以下の設定した通信スタイルで１回送信します。

1. ストリームモード

体重値が表示しているのと同じ値を常時出力します。出力されるデータは、約１０回/秒です。
出力形式は標準フォーマットになります。

2. オート出力モードA,B,C

体重表示が固定されるとデータが１回だけ出力されます。

項目	出力データ内容
オート出力モードA	測定データ
オート出力モードB	測定データ　＋　IDデータ
オート出力モードC	測定データ　＋　時計データ
オート出力モードD（初期設定）	測定データ　＋　時計データ　＋　IDデータ

10.2. データフォーマット

□ 標準フォーマット

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
ヘッダ	内容	出力データ																							
ST,G_	総量	S	T	,	G	_	.	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF				
ST,N_	正味量	S	T	,	N	_	.	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF				
ST,T_	風袋	S	T	,	T	_	.	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF				
ST,PT	プリセット	S	T	,	P	T	.	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF				
ST,HT	身長	S	T	,	H	T	.	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	c	m	CR	LF				
ST,BM	BMI	S	T	,	B	M	.	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	CR	LF							
ID	患者ID	I	D	,	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	CR	LF			
TM	時刻	T	M	,	2	0	年	年	/	月	月	/	日	日	.	時	時	:	分	分	:	秒	秒	CR	LF

① ◆はスペース “0x20”を表します。

② 終端記号は設定により CR+LF, CR, LF を選択できます。

□ 全自動血圧計用フォーマット

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
ヘッダ	内容	出力データ																							
ST	安定(通常)	S	T	,	+/-	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF							
US	不安定	U	S	,	+/-	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF							
OL	過荷重	O	L	,	+/-	9	9	9	9	9	9	.	9	◆	k	g	CR	LF							
TR	風袋	T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF							
PT	Q プリセット	P	T	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF							
HT	身長値	H	T	,	+	数字	数字	数字	数字		数字	◆	c	m	CR	LF									
BM	BMI	B	M	,	+	数字	数字	数字	.	数字	CR	LF													
ID	患者ID	I	D	,	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	CR	LF			
TM	時刻	T	M	,	2	0	年	年	/	月	月	/	日	日	.	時	時	:	分	分	:	秒	秒	CR	LF

① ◆はスペース “0x20”を表します。

② 終端記号は設定により CR+LF, CR, LF を選択できます。

□ プリンタ用フォーマット

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
ヘッダ	内容	出力データ																							
ST	安定(通常)	S	T	,	+/-	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF							
US	不安定	U	S	,	+/-	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF							
OL	過荷重	O	L	,	+/-	9	9	9	9	9	9	.	9	◆	k	g	CR	LF							
TR	風袋	T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	◆	k	g	CR	LF							
PT	プリセット風袋	P	T	,	+	数字	数字	数字	数字		数字	◆	k	g	CR	LF									
HT	身長値	H	T	,	+	数字	数字	数字	数字		数字	◆	c	m	CR	LF									
BM	BMI	B	M	,	+	数字	数字	数字	.	数字	CR	LF													
ID	患者ID	I	D	,	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	CR	LF			
TM	時刻	T	M	,	2	0	年	年	/	月	月	/	日	日	.	時	時	:	分	分	:	秒	秒	CR	LF

① ◆はスペース “0x20”を表します。

② 終端記号は設定により CR+LF, CR, LF を選択できます。

11. 保守

11.1. 保守点検と安全管理

本器は必要時に有する機能が十分に発揮され、しかも被測定者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。
本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。
弊社では、１年に１回以上の定期点検をお勧め致します。

11.2. 清掃

⚠注意	
	■ 清掃を行う際は、AC アダプタをコンセントから抜いてください。 感電の恐れがあります。
	■ 本器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。 ■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。 ■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。

本器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、１ヶ月に１回程度、以下のように行ってください。
・外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
・血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

11.3. 定期点検

機器を正しくお使い頂くために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。
定期点検については、弊社にお問合せください。

11.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ 落下等による変形、破損がないこと ■ 各部の汚れ、サビ、キズがないこと ■ パネル類の割れやガタつきがないこと ■ 結露、水濡れしていないこと
操作部	■ スイッチ、ボタン類の破損、ガタつきがないこと
表示部	■ 画面の汚れ、キズ、ガタつきがないこと
測定部	■ 計量台のガタつき、固定異常がないこと ■ 足コマの外れ、破損がないこと
接続ケーブル	■ AC アダプタのケーブルや接続ケーブルの上に重いもの、車イス、本体等がのっていないこと ■ AC アダプタのケーブルや接続ケーブルが破損していないこと ■ 本体のコネクタに確実に挿入されていること

11.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいがないこと ■ 異常な音がしないこと
操作部	■ スイッチ、ボタン類の動作を確認し異常がないこと
表示部	■ 表示器の、マーク、数字等の表示欠けがないこと
測定部	■ 実測し、測定動作を確認し異常がないこと
データ処理 （他 PC 等への接続の場合）	■ 体重値を表示確認し、異常がないこと
電源部	■ 電源電圧を確認し異常がないこと

■機器に異常がある場合は、点検にお出しください。
■点検は、最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

11.4. 廃棄

本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品　名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール、発泡スチロール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ABS 樹脂
	内部部品	一般部品
	ベース	アルミ
	基板上の電池（バックアップ用）	リチウム電池
	乾電池	単３形アルカリ乾電池

11.5. 修理を依頼される前に

測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。
これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、弊社 ME 機器相談センターにお問合せください。

現象	確認内容
ON/OFF スイッチを押しても、何も表示しない。	・AC アダプタは正しく接続されていますか？ ・乾電池が正しく入っていますか？ ・乾電池が消耗していませんか？
“－－－－－”を表示したまま変わらない。	・電源をいれるとき、計量台の上に何かのっていませんか？ 約 15 kg 以上のものをのせて電源をいれると表示されます。のっているものを降ろしてください。
体重が正しくはかれない。	・計量台に壁やコードなどが接触していませんか？ ・水平に設置されていますか？
身長が正しくはかれない。	・支柱に何か引っ掛かっていませんか？ ・支柱が曲がっていませんか？
ケーブル確認と表示される。	・表示器と計量台を接続する専用接続ケーブルが抜けていませんか？ ・表示器と計量台を接続する専用接続ケーブルが断線していませんか？
測定範囲外と表示される。	・計量台に 150.8 kg を越えたものがのっているか、電源投入時に計量台にのっているものを降ろしたとき表示されます。故障ではありません。
⊏ が表示される。	・乾電池が消耗しています。電池交換をしてください

エラーコード

表示	内容	対処法
E	体重値の範囲外表示	・ひょう量より重いものをのせている可能性があります。 ・質量センサや内部回路が故障している可能性があります。
-E	体重値の範囲外表示	・総量が-1.9 kg 未満になった場合に出る表示です。 （約-3 kg 以上で体重値が安定した場合、安定マークが点灯し、ゼロスイッチを押して表示をゼロにすることができます。） ・上方向に強い力を受けたときに出る表示です。 計量台が何かに引っかかっていないか確認してください。 ・質量センサや内部回路が故障している可能性があります。
Err2	電源電圧が低すぎるときの表示	・乾電池電圧が低くなっている可能性があります。 新しい乾電池に交換してください。 ・AC アダプタは、当社製品指定の専用アダプタをご使用ください。
Err3	電源電圧が高すぎるときの表示	・AC アダプタは、当社製品指定の専用アダプタをご使用ください。
Err6	計量台照合エラー	・表示器と計量台の照合が取れません。表示器と計量台が正しく接続されているかご確認ください。

⚠警告

■ 本器の分解、および改造はしないでください。
けが、火災、感電の原因となります。

12. アクセサリ・オプションリスト

品名	型名
専用ACアダプタ	AX-TB162
弊社プリンタ用接続ケーブル　2m	AX-K01371-200
弊社プリンタ用接続ケーブル　75cm	AX-K03937
専用接続ケーブル3m	AX-K03938
専用接続ケーブル2m	AX-K03946
プリンタユニット ME計量器用	AD-PR580
AD プリンタユニット AD-PR600	AD-A101
手元確定スイッチ AD-SW600	AD-A104

13. 重力加速度の大きさの範囲

本製品は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。
2箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。
たとえば、愛知県の場合「９．８００～９．７９６　m/s^2」または「９．７９８～９．７９４　m/s^2」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	区分	使用地域（都道府県）
9.807～9.803　m/s^2	1	北海道
9.804～9.800　m/s^2	2	青森県、岩手県、宮城県、秋田県
9.802～9.798　m/s^2	3	山形県、福島県、茨城県、新潟県
9.800～9.796　m/s^2	4	栃木県、千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、埼玉県、東京都（八丈、小笠原を除く）、福井県、富山県、石川県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、兵庫県、山口県、広島県、岡山県、鳥取県、島根県
9.798～9.794　m/s^2	5	長野県、東京都（全域）、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、山口県、広島県、岡山県、鳥取県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、大分県、鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.794～9.790　m/s^2	6	鹿児島県（薩摩地方を除く）
9.792～9.789　m/s^2	7	沖縄県

14. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

14.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体……ご購入日より１年

14.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

14.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 裏表紙に記載してある相談窓口にお申し付けください。

メディカル機器に関するご質問･ご相談窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

ＭＥ機器相談センター

電話 **0120-707-188** 通話料無料

受付時間: 9:00～12:00、13:00～17:00、月曜日～金曜日(祝日、弊社休業日を除く)
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

修理品の発送先

（医療用体重計、医療用身長計）

〒364-8585　埼玉県北本市朝日１－２４３

株式会社エー・アンド・デイ　ＦＥ部修理受付係　TEL. 048-593-1459

株式会社 エー・アンド・デイ

本　　社　〒170-0013 東京都豊島区東池袋３－２３－１４
ダイハツ・ニッセイ池袋ビル
TEL. 03-5391-6127(直)　FAX. 03-5391-6129

札幌出張所　TEL. 011-251-2753(代)　FAX. 011-251-2759
仙台出張所　TEL. 022-211-8051(代)　FAX. 022-211-8052
名古屋営業所　TEL. 052-726-8763(直)　FAX. 052-726-8769
大阪営業所　TEL. 06-7668-3904(直)　FAX. 06-7668-3901
広島営業所　TEL. 082-233-0611(代)　FAX. 082-233-7058
福岡営業所　TEL. 092-441-6715(代)　FAX. 092-411-2815

※電話番号、ファクシミリ番号は、
2014年08月02日現在です。

※電話番号、ファクシミリ番号は、
予告なく変更される場合があります。

※電話のかけまちがいにご注意ください。
番号をよくお確かめの上、おかけください。